

2011年6月20日

ABC が照明・バーチャル CG・音声技術で受賞

朝日放送の技術スタッフらが第30回日本照明家協会賞のテレビ部門と第10回日本映画テレビ技術協会映像技術賞で以下の賞を受賞しました。

日本照明家協会 第30回日本照明家協会賞

優秀賞 道本啓介（朝日放送）・湊健太郎（テレビ朝日）

報道ステーション お天気コーナー 京都紅葉中継（2010年11月22～25日放送）

＜受賞理由＞文化財での生放送という制約のある条件の中、紅葉の赤みの違いを上手に表現するとともに、陰影をすることによって映像の奥行き感をダイナミックに演出。計算し尽くした照明設計で、昼間の紅葉とは一線を画す圧倒的で美しい光の世界を実現した。

日本映画テレビ技術協会 第10回映像技術賞

映像技術賞 朝日放送 バーチャルスタッフ

選挙 Station2010 関西ローカル枠におけるバーチャル CG（2010年7月11日放送）

＜受賞理由＞スタジオとの極めて高い親和性と精度を持ったバーチャルセットを構築するとともに、キャスター自身がタッチパネルを使ってバーチャル CG を操作するという新しい試みや Twitter 情報を整理送出するシステムを開発するなどの取り組みによって、今後のオンエアグラフィックスが目指すべき方向を示した。

映像技術賞 兼岩 克（朝日放送）

土曜ワイド劇場「天使が消えていく」の照明（2010年10月30日放送）

＜受賞理由＞白熱灯、蛍光灯、外光等、現場の明かりを巧みに利用し、自然な映像に纏め上げるとともに、暗部の処理、コントラストの配分、色調に対する配慮など、その丁寧で一貫した照明設計とカメラワークとの連携プレーで臨場感溢れるサスペンスの仕上がりに貢献した。

映像技術奨励賞 村越順司・波田純一（朝日放送）・滝川毅（アイネックス）

土曜ワイド劇場「天使が消えていく」の音声（2010年10月30日放送）

＜受賞理由＞最近のドラマ収録で主流となっている出演者へのワイヤレスマイク装着を極力避け、ブームマイクを主に使用することで、映像に合った芝居の奥行き感や臨場感を表現した。ドラマ録音の基本ともいえるブームマイクへの強いこだわりをもって取り組んだ姿勢と、その将来性が高く評価された。

＜公益社団法人日本照明家協会＞

舞台・テレビの照明に従事している全国の照明家が個人として入会している団体。演出空間・映像領域の創作活動に対し、芸術性のある照明手法をもって作品の完成度に寄与することを目標にしている。

＜社団法人日本映画テレビ技術協会＞

映画・テレビに関連する法人・団体と映画・テレビの技術に携わる個人で組織される団体で、映像技術全般にわたって広い視野にたったわが国唯一の公益法人団体。